DMV-４４３ Remote 制御詳細

1.Protocol

RS-232C 準拠/RS-485（Half Duplex）準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1 or 2 可変
Data Bit	8 or 7 可変
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2400 or 4800 or 9600 or 19200bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2.Write command

マルチビューワ（DMV-443）が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「ＭＥＮＵ+CR,LF」を返します。

2-1.Answer

「ＧＯ+CR,LF」	正常受信、正常実行
「ＧＮ+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「Ｅ０+CR,LF」	Framing error
「Ｅ１+CR,LF」	Parity error
「Ｅ２+CR,LF」	Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」	Command error
「ＭＥＮＵ+CR,LF」	Menu 状態
「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」	Alarm 状態

2-2.Command

2-2-1.アラーム関連

2-2-1-1.「ＡＤＯＦ+CR,LF」（Alarm Display Off）
アラーム状態の時に「ＡＬＡＲＭ」という文字を表示しない設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2.「ＡＤＯＮ+CR,LF」（Alarm Display On）
アラーム状態の時に「ＡＬＡＲＭ」という文字を表示する設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3.「ＡＤＴｎｎｎ+CR,LF」（Alarm Duration Time nnn）
アラーム状態の保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。
ｎｎｎは秒数で設定範囲は【００３】～【９９９】秒です。

2-2-1-4.「AME+CR,LF」（Alarm Mode External）
アラームのモードを外部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5.「ＡＭＩ+CR,LF」（Alarm Mode Internal）
アラームのモードを内部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6.「ＡＰＢ+CR,LF」（Alarm Polarity Break）
アラーム入力の極性をブレークに設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。
アラームのモードが外部の場合は、常にメーク設定になります。

2-2-1-7.「ＡＰＭ+CR,LF」（Alarm Polarity Make）
アラーム入力の極性をメークに設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8.「ＡＲＯＦ+CR,LF」（Alarm Return Off）
アラーム リターンを OFF に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9.「ＡＲＯＮ+CR,LF」（Alarm Return On）
アラーム リターンを ON に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2.ボーダーライン（分割画面時の境界線）設定

2-2-2-1.「ＢＬＢ+CR,LF」（Border Line Black）
分割画面の境界線を黒色に設定します。

2-2-2-2.「ＢＬＧ+CR,LF」（Border Line Gray）
分割画面の境界線を灰色に設定します。

2-2-2-3.「ＢＬＯ+CR,LF」（Border Line Off）
分割画面の境界線を無しに設定します。

2-2-2-4.「ＢＬＷ+CR,LF」（Border Line White）
分割画面の境界線を白色に設定します。

2-2-3.カメラチャンネル選択

2-2-3-1.「ＣＣＡＳ+CR,LF」（Change Camera Auto Sequence）
オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-2.「ＣＤ+CR,LF」（Change Division screen）
分割画面を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-3.「ＣＳ０１+CR,LF」～「ＣＳ０４+CR,LF」（Change Single screen ch.1～4）
単画面のチャンネル No.１～4 を選択します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。
但し ALARM MODE の設定が【ＥＸＴ．】の場合は「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-4.「ＳＣＣＡＳ+CR,LF」（Spot Change Camera Auto Sequence）
オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。（スポット出力）

2-2-3-5.「ＳＣＤ+CR,LF」（Spot Change Division screen）
分割画面を選択します。（スポット出力）

2-2-3-6.「ＳＣＳ０１+CR,LF」～「ＳＣＳ０４+CR,LF」（Spot Change Single screen ch.1～4）
単画面のチャンネル No.１～4 を選択します。（スポット出力）

2-2-4.自動切換え時間設定

2-2-4-1.「ＣＡＳＴＤｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Division）
分割画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-2.「ＣＡＳＴＭｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Mix）
全チャンネルのオートシーケンスの切換え時間を設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-3.「ＣＡＳＴＳｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Camera Auto Sequence Time Single）
単画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-4.「ＣＡＳＴＳ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＣＡＳＴＳ０４ｎｎ+CR,LF」
（Camera Auto Sequence Time Single ch. 1～4）
単画面のオートシーケンスの切換え時間を個別に設定します。
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-5.「ＳＣＡＳＴＤｎｎ+CR,LF」（Spot Camera Auto Sequence Time Division）
分割画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。（スポット出力）
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-6.「ＳＣＡＳＴＭｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Spot Camera Auto Sequence Time Mix）
全チャンネルのオートシーケンスの切換え時間を設定します。（スポット出力）
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-7.「ＳＣＡＳＴＳｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Spot Camera Auto Sequence Time Single）
単画面のオートシーケンスの切換え時間を設定します。（スポット出力）
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-8.「ＳＣＡＳＴＳ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＳＣＡＳＴＳ０４ｎｎ+CR,LF」
（Spot Camera Auto Sequence Time Single ch. 1～4）
単画面のオートシーケンスの切換え時間を個別に設定します。（スポット出力）
ｎｎは時間で単位は秒です。　設定範囲は【００】～【９９】秒です。
【００】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1.「ＣＩA+CR,LF」（Connector In Alarm）
端子台入力をアラームに設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-5-2.「ＣＩＲ+CR,LF」（Connector In Remote）
端子台入力をリモートに設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1.「ＣＴ０１＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」～「ＣＴ０４＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」
（Character Title ch.01～04 Set）
各チャンネルのタイトル・キャラクタを設定します。
タイトルの文字長さは 10 文字なので 10 文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。
*印はキャラクタで別紙の ASCII Code 表を参照してください。
“▷”, “～”を設定する場合は以下の ASCII Code を使用してください。
▷　　＃（0x23）
～　　＄（0x24）
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2.「ＣＴＤＤＯＦ+CR,LF」（Character Title Display Division screen Off）
分割画面時のタイトル表示を OFF に設定します。

2-2-6-3.「ＣＴＤＤＯＮ+CR,LF」（Character Title Display Division screen On）
分割画面時のタイトル表示を ON に設定します。

2-2-6-4.「ＣＴＤＳＯＦ+CR,LF」（Character Title Display Single screen Off）
単画面時のタイトル表示を OFF に設定します。

2-2-6-5.「ＣＴＤＳＯＮ+CR,LF」（Character Title Display Single screen On）
単画面時のタイトル表示を ON に設定します。

2-2-6-6.「ＳＣＴＤＤＯＦ+CR,LF」（Spot Character Title Display Division screen Off）
分割画面時のタイトル表示を OFF に設定します。（スポット出力）

2-2-6-7.「ＳＣＴＤＤＯＮ+CR,LF」（Spot Character Title Display Division screen On）
分割画面時のタイトル表示を ON に設定します。（スポット出力）

2-2-6-8.「ＳＣＴＤＳＯＦ+CR,LF」（Spot Character Title Display Single screen Off）
単画面時のタイトル表示を OFF に設定します。（スポット出力）

2-2-6-9.「ＳＣＴＤＳＯＮ+CR,LF」（Spot Character Title Display Single screen On）
単画面時のタイトル表示を ON に設定します。（スポット出力）

2-2-6-10.「ＣＴＰＸｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Character Title Position X 座標）
全ての単画面のタイトル表示位置 X 座標を設定します。
設定範囲は【０２】～【34】です。

2-2-6-11.「ＣＴＰＸ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＣＴＰＸ０４ｎｎ+CR,LF」
（Character Title Position X 座標 ch.01～ch.04）
単画面のタイトル表示位置 X 座標を個別に設定します。
設定範囲は【０２】～【３４】です。

2-2-6-12.「ＣＴＰＹｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」（Character Title Position Y 座標）
全ての単画面のタイトル表示位置Ｙ座標を設定します。
設定範囲は【０２】～【２１】です。

2-2-6-13.「ＣＴＰＹ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＣＴＰＹ０４ｎｎ+CR,LF」
（Character Title Position Y 座標 ch.01～ch.04）
単画面のタイトル表示位置Ｙ座標を個別に設定します。
設定範囲は【０２】～【２１】です。

2-2-7.日付,時刻設定

2-2-7-1.「ＤＳＤｎｎ+CR,LF」（Date Set Day）
日付の日の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は【０１】～【３１】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-2.「ＤＳＭｎｎ+CR,LF」（Date Set Month）
日付の月の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は【０１】～【１２】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-3.「ＤＳＹｎｎ+CR,LF」（Date Set Year）
日付の年の単位を設定します。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【９９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-4.「ＴＳＡ+CR,LF」（Time Set Adjust）
時刻の秒の単位を００に設定します。
その時の時刻が３０秒未満の場合００秒に合わせます。
その時の時刻が３０秒以上の場合００秒に合わせ分の単位を＋１します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-5.「ＴＳＨｎｎ+CR,LF」（Time Set Hour）
時刻の時の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【２３】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-6.「ＴＳＭｎｎ+CR,LF」（Time Set Minute）
時刻の分の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【５９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-7-7.「ＴＳＳｎｎ+CR,LF」（Time Set Second）
時刻の秒の単位の設定をします。
ｎｎは設定値で範囲は【００】～【５９】です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8.時刻&表示設定

2-2-8-1.「ＴＳＤＯＦ+CR,LF」 (Time Signal Display Off)
時刻表示の設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-8-2.「ＴＳＤＯＮ+CR,LF」 (Time Signal Display On)
時刻表示の設定を【ＯＮ】にします。

2-2-8-3.「ＳＴＳＤＯＦ+CR,LF」 (Spot Time Signal Display Off)
時刻表示の設定を【ＯＦＦ】にします。（スポット出力）

2-2-8-4.「ＳＴＳＤＯＮ+CR,LF」 (Spot Time Signal Display On)
時刻表示の設定を【ＯＮ】にします。（スポット出力）

2-2-8-5.「ＴＳＤＲ１+CR,LF」～「ＴＳＤＲ８+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1～8)
時刻表示のレンジを設定します。
1は【ＹＭＤＨＭＳ】 年月日時分秒 です。
2は【ＹＭＤＨＭ 】 年月日時分 です。
3は【ＹＭＤ 】 年月日 です。
4は【 ＭＤＨＭＳ】 月日時分秒 です。
5は【 ＭＤＨＭ 】 月日時分 です。
6は【 ＭＤ 】 月日 です。
7は【 ＨＭＳ】 時分秒 です。
8は【 ＨＭ 】 時分 です。

2-2-9.分割画面選択

2-2-9-1.「ＤＳＳ２+CR,LF」 (Division Screen Select 2)
分割画面を2分割画面に設定します。

2-2-9-2.「ＤＳＳ４+CR,LF」 (Division Screen Select 4)
分割画面を4分割画面に設定します。

2-2-9-3.「ＳＤＳＳ２+CR,LF」 (Spot Division Screen Select 2)
分割画面を2分割画面に設定します。（スポット出力）

2-2-9-4.「ＳＤＳＳ４+CR,LF」 (Spot Division Screen Select 4)
分割画面を4分割画面に設定します。（スポット出力）

2-2-10.ボタン ロック設定

2-2-10-1.「ＬＯＦ+CR,LF」 (Lock Off)
ボタン・ロックを解除します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-10-2.「ＬＯＮ+CR,LF」 (Lock On)
ボタン・ロックを設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-11.OSD 表示位置微調整

2-2-11-1.「ＯＯＨ０+CR,LF」～「ＯＯＨ７+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal 0～7)
OSD 表示の水平方向の微調整をします。

2-2-11-2.「ＯＯＶ０+CR,LF」～「ＯＯＶ７+CR,LF」（OSD Offset Vertical 0～7）
OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

2-2-11-3.「ＳＯＯＨ０+CR,LF」～「ＳＯＯＨ７+CR,LF」（Spot OSD Offset Horizontal 0～7）
OSD 表示の水平方向の微調整をします。（スポット出力）

2-2-11-4.「ＳＯＯＶ０+CR,LF」～「ＳＯＯＶ７+CR,LF」（Spot OSD Offset Vertical 0～7）
OSD 表示の垂直方向の微調整をします。（スポット出力）

2-2-12.電源投入時画面設定

2-2-12-1.「ＰＯＳＣＡＳ+CR,LF」（Power On Screen Camera Auto Sequence）
電源投入時の画面を自動切換えに設定します。

2-2-12-2.「ＰＯＳＤ+CR,LF」（Power On Screen Division）
電源投入時の画面を分割画面に設定します。

2-2-12-3.「ＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＰＯＳＳ０４+CR,LF」（Power On Screen Single ch.01～04）
電源投入時の画面を単画面に設定します。

2-2-12-4.「ＳＰＯＳＣＡＳ+CR,LF」（Spot Power On Screen Camera Auto Sequence）
電源投入時の画面を自動切換えに設定します。（スポット出力）

2-2-12-5.「ＳＰＯＳＤ+CR,LF」（Spot Power On Screen Division）
電源投入時の画面を分割画面に設定します。（スポット出力）

2-2-12-6.「ＳＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＳＰＯＳＳ０４+CR,LF」
（Spot Power On Screen Single ch.01～04）
電源投入時の画面を単画面に設定します。（スポット出力）

2-2-13.アスペクト比設定

2-2-13-1.「ＳＡＲＤ１+CR,LF」～「ＳＡＲＤ３+CR,LF」（Screen Aspect Ratio Division 1～3）
分割画面のアスペクト比を設定します。
【１】４：３　　【２】16：9　　【３】フル表示
※【３】フル表示は、分割画面が２分割時のみ有効です。

2-2-13-2.「ＳＡＲＳ１+CR,LF」～「ＳＡＲＳ２+CR,LF」（Screen Aspect Ratio Single 1～2）
単画面のアスペクト比を設定します。
【１】４：３　　【２】16：9

2-2-13-3.「ＳＳＡＲＤ１+CR,LF」～「ＳＳＡＲＤ２+CR,LF」（Spot Screen Aspect Ratio Division 1～2）
分割画面のアスペクト比を設定します。（スポット出力）
【１】４：３　　【２】16：9　　【３】フル表示
※【３】フル表示は、分割画面が２分割時のみ有効です。

2-2-13-4.「ＳＳＡＲＳ１+CR,LF」～「ＳＳＡＲＳ２+CR,LF」（Spot Screen Aspect Ratio Single 1～2）
単画面のアスペクト比を設定します。（スポット出力）
【１】４：３　　【２】16：9

2-2-14.画面サイズ設定

2-2-14-1.「ＳＳＬ+CR,LF」（Screen Size Large）
画面表示サイズをラージに設定します。

2-2-14-2.「ＳＳN+CR,LF」（Screen Size Normal）
画面表示サイズをノーマルに設定します。

2-2-14-3.「ＳＳＳL+CR,LF」（Spot Screen Size Large）
画面表示サイズをラージに設定します。（スポット出力）

2-2-14-4.「ＳＳＳN+CR,LF」（Spot Screen Size Normal）
画面表示サイズをノーマルに設定します。（スポット出力）

2-2-15.ビデオ調整

2-2-15-1.「ＶＡＢ０１ｎｎｎ+CR,LF」～「ＶＡＢ０４ｎｎｎ+CR,LF」
（Video Adjustment Brightness ch.1～4 value nnn）
ビデオ調整のブライトネスを設定します。
ｎｎｎは10進の設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。

2-2-15-2.「ＶＡＣ０１ｎｎｎ+CR,LF」～「ＶＡＣ０４ｎｎｎ+CR,LF」
（Video Adjustment Contrast ch.1～4 value nnn）
ビデオ調整のコントラストを設定します。
ｎｎｎは10進の設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。

2-2-15-3.「ＶＡＨ０１ｎｎｎ+CR,LF」～「ＶＡＨ０４ｎｎｎ+CR,LF」
（Video Adjustment Hue ch.1～4 value nnn）
ビデオ調整のヒューを設定します。
ｎｎｎは10進の設定値で設定範囲は【０００】～【２５５】です。

2-2-15-4.「ＶＡＳ０１ｎｎ+CR,LF」～「ＶＡＳ０４ｎｎ+CR,LF」
（Video Adjustment Sharpness ch.1～4 value nn）
ビデオ調整のシャープネスを設定します。
ｎｎは10進の設定値で設定範囲は【００】～【１５】です。

2-2-16.ビデオ・ロス

2-2-16-1.「ＶＬ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＶＬ０４ＯＦ+CR,LF」（Video Loss detect ch.01～04 Off）
ビデオ ロスの検出設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-16-2.「ＶＬ０１ON+CR,LF」～「ＶＬ０４ON+CR,LF」（Video Loss detect ch.01～04 On）
ビデオ ロスの検出設定を【ＯＮ】にします。

2-2-16-3.「ＶＬｏｏｏｏ+CR,LF」（Video Loss detect ch.01～04）
ビデオ ロスの検出設定を一斉にします。
ｏは、「Ｆ」が【ＯＦＦ】，「Ｎ」が【ＯＮ】です。

2-2-16-4.「ＶＬＢＣB+CR,LF」（Video Loss Background Color Blue）
ビデオ ロス時の画面背景色を【ＢＬＵＥ】にします。

2-2-16-5.「ＶＬＢＣN+CR,LF」（Video Loss Background Color Normal）
ビデオ ロス時の画面背景色を【ＮＯＲＭＡＬ】にします。

2-2-16-6.「ＶＬＤＯＦ+CR,LF」（Video Loss Display Off）
ビデオ ロスの表示設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-16-7.「ＶＬＤＯＮ+CR,LF」（Video Loss Display On）
ビデオ ロスの表示設定を【ＯＮ】にします。

2-2-16-8.「ＶＬＳＯＯＦ+CR,LF」 (Video Loss Signal Out Off)
ビデオ ロスの信号出力設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-16-9.「ＶＬＳＯＯＮ+CR,LF」 (Video Loss Signal Out On)
ビデオ ロスの信号出力設定を【ＯＮ】にします。

2-2-17. 水平方向の映像反転

2-2-17-1.「ＨＭ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＨＭ０４ＯＦ+CR,LF」 (Horizontal Mirroring ch.01～04 Off)
水平方向の映像反転の検出設定を【ＯＦＦ】にします。

2-2-17-2.「ＨＭ０１ＯＮ+CR,LF」～「ＨＭ０４ＯＮ+CR,LF」 (Horizontal Mirroring ch.01～04 On)
水平方向の映像反転の検出設定を【ＯＮ】にします。

2-2-17-3.「ＨＭｏｏｏｏ+CR,LF」 (Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の検出設定を一斉にします。
ｏは、「Ｆ」が【ＯＦＦ】, 「Ｎ」が【ＯＮ】です。

2-2-17-4.「ＳＨＭ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＳＨＭ０４ＯＦ+CR,LF」
(Spot Horizontal Mirroring ch.01～04 Off)
水平方向の映像反転の検出設定を【ＯＦＦ】にします。（スポット出力）

2-2-17-5.「ＳＨＭ０１ＯＮ+CR,LF」～「ＳＨＭ０４ＯＮ+CR,LF」
(Spot Horizontal Mirroring ch.01～04 On)
水平方向の映像反転の検出設定を【ＯＮ】にします。（スポット出力）

2-2-17-6.「ＳＨＭｏｏｏｏ+CR,LF」 (Spot Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の検出設定を一斉にします。
ｏは、「Ｆ」が【ＯＦＦ】, 「Ｎ」が【ＯＮ】です。（スポット出力）

2-2-18.メニュー コマンド

2-2-18-1.「ＭＯＦ+CR,LF」 (Menu Off)
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニュー設定値が点滅時は「ＧＮ+CR,LF」を返します。

2-2-18-2.「ＭＯＮ+CR,LF」 (Menu On)
メニューを表示します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ＡＬＡＲＭ+CR,LF」を返しコマンドを
実行しません。
メニューが表示されている時は「ＧＮ+CR,LF」を返します。

2-2-18-3.「ＭＬ+CR,LF」 (Menu Left)
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニューの左操作が不要時は「ＧＮ+CR,LF」を返します。

2-2-18-4.「ＭＲ+CR,LF」 (Menu Right)
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニューの右操作が不要時は「ＧＮ+CR,LF」を返します。

2-2-18-5.「ＭＵ+CR,LF」 (Menu Up)
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニューの上操作が不要時は「ＧＮ+CR,LF」を返します。

2-2-18-6.「MD+CR,LF」（Menu Down）
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニューの下操作が不要時は「ＧN+CR,LF」を返します。

2-2-18-7.「ＭＥ+CR,LF」（Menu Enter）
メニューを消去します。
メニューが表示されていない時、メニューの決定操作が不要時は「ＧN+CR,LF」を返します。

3.Read command

3-1.異常時 Answer
「Ｅ０+CR,LF」　Framing error
「Ｅ１+CR,LF」　Parity error
「Ｅ２+CR,LF」　Overrun error
「Ｅ３+CR,LF」　Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「ＲＡＤ+CR,LF」（Read Alarm Display）
「ＡＬＡＲＭ」文字表示の設定を返します。
「ＡＤＯＦ+CR,LF」　表示 OFF
「ＡＤＯＮ+CR,LF」　表示 ON

3-2-1-2.「ＲＡＤＴ+CR,LF」（Read Alarm Duration Time）
アラーム保持時間の設定を返します。
「ＡＤＴ００３+CR,LF」～「ＡＤＴ９９９+CR,LF」　3～999 秒

3-2-1-3.「ＲAM+CR,LF」（Read Alarm Mode）
アラーム モードの設定を返します。
「AME+CR,LF」 External（外部）
「AＭＩ+CR,LF」 Internal（内部）

3-2-1-4.「ＲＡＰ+CR,LF」（Read Alarm Polarity）
アラーム入力極性の設定を返します。
「ＡＰＢ+CR,LF」 ブレーク（Break）
「ＡＰM+CR,LF」 メーク（Make）

3-2-1-5.「ＲＡＲ+CR,LF」（Read Alarm Return）
アラーム リターンの設定を返します。
「ＡＲＯＦ+CR,LF」　OFF
「ＡＲＯＮ+CR,LF」　ON

3-2-2.ボーダーライン（分割画面時の境界線）設定

3-2-2-1.「ＲＢＬ+CR,LF」（Read Border Line）
分割画面の境界線の設定を返します。
「ＢＬＢ+CR,LF」 黒色
「ＢＬＧ+CR,LF」 灰色
「ＢＬＯ+CR,LF」 無し
「ＢＬＷ+CR,LF」 白色

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)
DMV-442A の現在の状態を返します。
「ＣＡＳ+CR,LF」　　オートシーケンスで動作中
「Ｄ２+CR,LF」or「Ｄ４+CR,LF」　　2 or 4 分割画面
「Ｓ０１+CR,LF」～「Ｓ０４+CR,LF」 単画面カメラ ch.
「Ａ０１+CR,LF」～「Ａ０４+CR,LF」 Alarm 保持中 ch.
「ＭＥＮＵ+CR,LF」　　Menu 表示中

3-2-3-2.「ＲＳＭ+CR,LF」 (Read Spot Mode)
DMV-442A の現在の状態を返します。（スポット出力）
「ＳＣＡＳ+CR,LF」　　オートシーケンスで動作中
「ＳＤ２+CR,LF」or「ＳＤ４+CR,LF」2 or 4 分割画面
「ＳＳ０１+CR,LF」～「ＳＳ０４+CR,LF」 単画面カメラ ch.

3-2-4.自動切換え時間

3-2-4-1.「ＲＣＡＳＴＤ+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division screen)
分割画面の自動切替えモードの時間設定を返します。
「ＣＡＳＴＤｎｎ+CR,LF」

3-2-4-2.「ＲＣＡＳＴＭ+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)
自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。
「ＣＡＳＴＭｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-4-3.「ＲＣＡＳＴＳ+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen)
単画面の自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。
「ＣＡＳＴＳｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-4-4.「ＲＣＡＳＴＳ０１+CR,LF」～「ＲＣＡＳＴＳ０４+CR,LF」
(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch. 1～4)
単画面の自動切替えモードの時間設定を個別に返します。
「ＣＡＳＴＳ０１００+CR,LF」～「ＣＡＳＴＳ０４９９+CR,LF」

3-2-4-5.「ＲＳＣＡＳＴＤ+CR,LF」 (Read Spot Camera Auto Sequence Time Division screen)
分割画面の自動切替えモードの時間設定を返します。（スポット出力）
「ＳＣＡＳＴＤｎｎ+CR,LF」

3-2-4-6.「ＲＳＣＡＳＴＭ+CR,LF」 (Read Spot Camera Auto Sequence Time Mix)
自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。（スポット出力）
「ＳＣＡＳＴＭｎｎｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-4-7.「ＲＳＣＡＳＴＳ+CR,LF」 (Read Spot Camera Auto Sequence Time Single screen)
単画面の自動切替えモードの時間設定をまとめて返します。（スポット出力）
「ＳＣＡＳＴＳｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-4-8.「ＲＳＣＡＳＴＳ０１+CR,LF」～「ＲＳＣＡＳＴＳ０４+CR,LF」
(Read Spot Camera Auto Sequence Time Single screen ch. 1～4)
単画面の自動切替えモードの時間設定を個別に返します。（スポット出力）
「ＳＣＡＳＴＳ０１００+CR,LF」～「ＳＣＡＳＴＳ０４９９+CR,LF」

3-2-5.コネクタ入力

3-2-5-1.「ＲＣＩ+CR,LF」 (Read Connector In)
端子台入力の設定を返します。
「ＣＩA+CR,LF」 アラーム
「ＣＩR+CR,LF」 リモート

3-2-6.タイトル関連

3-2-6-1.「ＲＣＴ０１+CR,LF」～「ＲＣＴ０４+CR,LF」 (Read Character Title ch.01～ch.04)
各チャンネルのタイトル設定を返します。
「ＣＴ０１＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」～「ＣＴ０４＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊+CR,LF」

3-2-6-2.「ＲＣＴＤＤ+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen)
分割画面時のタイトル設定を返します。
「ＣＴＤＤＯＦ+CR,LF」, 「ＣＴＤＤＯＮ+CR,LF」

3-2-6-3.「ＲＣＴＤＳ+CR,LF」 (Read Character Title Display Single screen)
単画面時のタイトル設定を返します。
「ＣＴＤＳＯＦ+CR,LF」, 「ＣＴＤＳＯＮ+CR,LF」

3-2-6-4.「ＲＳＣＴＤＤ+CR,LF」 (Read Spot Character Title Display Division screen)
分割画面時のタイトル設定を返します。（スポット出力）
「ＳＣＴＤＤＯＦ+CR,LF」, 「ＳＣＴＤＤＯＮ+CR,LF」

3-2-6-5.「ＲＳＣＴＤＳ+CR,LF」 (Read Spot Character Title Display Single screen)
単画面時のタイトル設定を返します。（スポット出力）
「ＳＣＴＤＳＯＦ+CR,LF」, 「ＳＣＴＤＳＯＮ+CR,LF」

3-2-6-6.「ＲＣＴＰＸ+CR,LF」 (Read Character Title Position X)
単画面時の全チャンネルのタイトル位置Ｘ座標設定を返します。
「ＣＴＰＸｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-6-7.「ＲＣＴＰＸ０１+CR,LF」～「ＲＣＴＰＸ０４+CR,LF」
(Read Character Title Position X ch.01～ch.04)
単画面時の各チャンネルのタイトル位置Ｘ座標設定を返します。
「ＣＴＰＸ０１０２+CR,LF」～「ＣＴＰＸ０４３４+CR,LF」

3-2-6-8.「ＲＣＴＰＹ+CR,LF」 (Read Character Title Position Y)
単画面時の全チャンネルのタイトル位置Ｙ座標設定を返します。
「ＣＴＰＹｎｎｎｎｎｎｎｎ+CR,LF」

3-2-6-9.「ＲＣＴＰＹ０１+CR,LF」～「ＲＣＴＰＹ０４+CR,LF」
(Read Character Title Position Y ch.01～ch.04)
単画面時の各チャンネルのタイトル位置Ｙ座標儒の設定を返します。
「ＣＴＰＹ０１０１+CR,LF」～「ＣＴＰＹ０４２１+CR,LF」

3-2-7.日付,時刻

3-2-7-1.「ＲＴＤ+CR,LF」 (Read Time & Date)
DMV-601H の日付&時刻を返します。
「ｙｙｙｙ．ｍｍ．ｄｄ　ｈｈ：MM：ｓｓ+CR,LF」
　ｙｙｙｙ＝年　ｍｍ＝月　ｄｄ＝日　ｈｈ＝時　MM＝分　ｓｓ＝秒

3-2-8.日付,時刻表示

3-2-8-1.「ＲＴＳＤ+CR,LF」 (Read Time Signal Display)
時刻表示の設定を返します。
「ＴＳＤＯＦ+CR,LF」 【ＯＦＦ】
「ＴＳＤＯＮ+CR,LF」 【ＯＮ】

3-2-8-2.「ＲＳＴＳＤ+CR,LF」 (Read Spot Time Signal Display)
時刻表示の設定を返します。（スポット出力）
「ＳＴＳＤＯＦ+CR,LF」 【ＯＦＦ】
「ＳＴＳＤＯＮ+CR,LF」 【ＯＮ】

3-2-8-2.「ＲＴＳＤＲ+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)
時刻表示のレンジ設定を返します。
「ＴＳＤＲ１+CR,LF」～「ＴＳＤＲ８+CR,LF」
１は【ＹＭＤＨＭＳ】 年月日時分秒 です。
２は【ＹＭＤＨＭ 】 年月日時分 です。
３は【ＹＭＤ 】 年月日 です。
４は【 ＭＤＨＭＳ】 月日時分秒 です。
５は【 ＭＤＨＭ 】 月日時分 です。
６は【 ＭＤ 】 月日 です。
７は【 ＨＭＳ】 時分秒 です。
８は【 ＨＭ 】 時分 です。

3-2-9.分割画面選択

3-2-9-1.「ＲＤＳＳ+CR,LF」 (Read Division Screen Select)
分割画面の画面選択の設定を返します。
「ＤＳＳ２+CR,LF」 ２分割
「ＤＳＳ４+CR,LF」 ４分割

3-2-9-2.「ＲＳＤＳＳ+CR,LF」 (Read Spot Division Screen Select)
分割画面の画面選択の設定を返します。（スポット出力）
「ＳＤＳＳ２+CR,LF」 ２分割
「ＳＤＳＳ４+CR,LF」 ４分割

3-2-10.ボタン ロック

3-2-10-1.「ＲＬ+CR,LF」 (Read Lock condition)
ボタン ロックの状態を返します。
「ＬＯＦ+CR,LF」 ロック OFF
「ＬＯＮ+CR,LF」 ロック ON

3-2-11.OSD 表示位置微調整

3-2-11-1.「ＲＯＯＨ+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)
OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。
「ＯＯＨ０+CR,LF」～「ＯＯＨ７+CR,LF」

3-2-11-2.「ＲＯＯＶ+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)
OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。
「ＯＯＶ０+CR,LF」～「ＯＯＶ７+CR,LF」

3-2-11-3.「ＲＳＯＯＨ+CR,LF」（Read Spot OSD Offset Horizontal）
OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。（スポット出力）
「ＳＯＯＨ０+CR,LF」～「ＳＯＯＨ７+CR,LF」

3-2-11-4.「ＲＳＯＯＶ+CR,LF」（Read Spot OSD Offset Vertical）
OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。（スポット出力）
「ＳＯＯＶ０+CR,LF」～「ＳＯＯＶ７+CR,LF」

3-2-12.電源投入時の画面設定

3-2-12-1.「ＲＰＯＳ+CR,LF」（Read Power On Screen）
電源投入時の画面設定を返します。
「ＰＯＳＣＡＳ+CR,LF」　自動切換え
「ＰＯＳＤ+CR,LF」　分割画面
「ＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＰＯＳＳ０４+CR,LF」　単画面

3-2-12-2.「ＲＳＰＯＳ+CR,LF」（Read Spot Power On Screen）
電源投入時の画面設定を返します。（スポット出力）
「ＳＰＯＳＣＡＳ+CR,LF」　自動切換え
「ＳＰＯＳＤ+CR,LF」　分割画面
「ＳＰＯＳＳ０１+CR,LF」～「ＳＰＯＳＳ０４+CR,LF」　単画面

3-2-13.アスペクト比

3-2-13-1.「ＲＳＡＲＤ+CR,LF」（Read Screen Aspect Ratio Division screen）
分割画面のアスペクト比の設定を返します。
「ＳＡＲＤ１+CR,LF」　4：3
「ＳＡＲＤ２+CR,LF」　16：9

3-2-13-2.「ＲＳＡＲＳ+CR,LF」（Read Screen Aspect Ratio Single Screen）
単画面のアスペクト比の設定を返します。
「ＳＡＲＤＳ１+CR,LF」　4：3
「ＳＡＲＤＳ２+CR,LF」　16：9

3-2-13-3.「ＲＳＳＡＲＤ+CR,LF」（Read Spot Screen Aspect Ratio Division screen）
分割画面のアスペクト比の設定を返します。（スポット出力）
「ＳＳＡＲＤ１+CR,LF」　4：3
「ＳＳＡＲＤ２+CR,LF」　16：9

3-2-13-4.「ＲＳＳＡＲＳ+CR,LF」（Read Spot Screen Aspect Ratio Single Screen）
単画面のアスペクト比の設定を返します。（スポット出力）
「ＳＳＡＲＳ１+CR,LF」　4：3
「ＳＳＡＲＳ２+CR,LF」　16：9

3-2-14.画面サイズ

3-2-14-1.「ＲＳＳ+CR,LF」（Read Screen Size）
画面サイズの設定を返します。
「ＳＳＬ+CR,LF」　Large
「ＳＳＮ+CR,LF」　Normal

3-2-14-2.「ＲＳＳＳ+CR,LF」（Read Spot Screen Size）
画面サイズの設定を返します。（スポット出力）
「ＳＳＳＬ+CR,LF」　　Large
「ＳＳＳＮ+CR,LF」　　Normal

3-2-15.ビデオ調整

3-2-15-1.「ＲＶＡＢ０１+CR,LF」～「ＲＶＡＢ０４+CR,LF」
（Read Video Adjustment Brightness ch.1～4）
ビデオ調整のブライトネス設定を返します。
「ＶＡＢ０１０００+CR,LF」～「ＶＡＢ０４２５５+CR,LF」

3-2-15-2.「ＲＶＡＣ０１+CR,LF」～「ＲＶＡＣ０４+CR,LF」
（Read Video Adjustment Contrast ch.1～4）
ビデオ調整のコントラスト設定を返します。
「ＶＡＣ０１０００+CR,LF」～「ＶＡＣ０４２５５+CR,LF」

3-2-15-3.「ＲＶＡＨ０１+CR,LF」～「ＲＶＡＨ０４+CR,LF」（Read Video Adjustment Hue ch.1～4）
ビデオ調整のヒューを設定返します。
「ＶＡＨ０１－１２８+CR,LF」～「ＶＡＨ０４＋２５５+CR,LF」

3-2-15-4.「ＲＶＡＳ０１+CR,LF」～「ＲＶＡＳ０４+CR,LF」
（Read Video Adjustment Sharpness ch.1～4）
ビデオ調整のシャープネス設定を返します。
「ＶＡＳ０１００+CR,LF」～「ＶＡＳ０４１５+CR,LF」

3-2-16.ビデオ・ロス

3-2-16-1.「ＲＶＬ+CR,LF」（Read Video Loss detection ch.01～04）
ビデオ・ロスの全設定を返します。
「ＶＬｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、「Ｆ」OFF, 「Ｎ」ON です。

3-2-16-2.「ＲＶＬ０１+CR,LF」～「ＲＶＬ０４+CR,LF」（Read Video Loss detection ch.01～04）
ビデオ・ロスの個別設定を返します。
「ＶＬ０１ＯＦ+CR,LF」～「ＶＬ０４ＯＮ+CR,LF」

3-2-16-3.「ＲＶＬＢＣ+CR,LF」（Read Video Loss Background Color）
ビデオ・ロス時の背景色設定を返します。
「ＶＬＢＣＢ+CR,LF」　Blue
「ＶＬＢＣＮ+CR,LF」　Normal

3-2-16-4.「ＲＶＬＤ+CR,LF」（Read Video Loss Display）
ビデオ・ロスの表示設定を返します。
「ＶＬＤＯＦ+CR,LF」　OFF
「ＶＬＤＯＮ+CR,LF」　ON

3-2-16-5.「ＲＶＳＯ+CR,LF」（Read Video Loss Signal Out）
ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。
「ＶＬＳＯＯＦ+CR,LF」　OFF
「ＶＬＳＯＯＮ+CR,LF」　ON

3-2-17.水平方向の映像反転

3-2-17-1.「ＲHM+CR,LF」 (Read Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の全設定を返します。
「HMｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、「F」OFF, 「N」ON です。

3-2-17-2.「ＲHM０１+CR,LF」～「ＲHM０４+CR,LF」 (Read Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の個別設定を返します。
「HM０１ＯF+CR,LF」～「HM０４ON+CR,LF」

3-2-17-3.「ＲＳHM+CR,LF」 (Read Spot Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の全設定を返します。（スポット出力）
「ＳHMｏｏｏｏ+CR,LF」
ｏは、「F」OFF, 「N」ON です。

3-2-17-4.「ＲＳHM０１+CR,LF」～「ＲＳHM０４+CR,LF」
(Read Spot Horizontal Mirroring ch.01～04)
水平方向の映像反転の個別設定を返します。（スポット出力）
「ＳHM０１ＯF+CR,LF」～「ＳHM０４ON+CR,LF」

3-2-18.バージョン情報

3-2-18-1.「ＲＶN+CR,LF」 (Read Version Number)
ファームウエアのバージョン ナンバーを返します。
「VN　ｎ．ｎｎ+CR,LF」　ｎは数値です。

4.ご注意
Command の発行と同時に DMV-442A のフロントスイッチを操作、またはリモート操作を行いますと誤った Answer を返すことがあります。
Command の発行を連続で行う場合 100mseconds.以上の間隔をあけて下さい。
CT Command の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。
Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5.変更履歴
2011.03.31 Version 1.00　Release
2014.10.21 「2-2-6-1」「ＣＴ」コマンドに例外キャラクタに関する記述を追加。
2017.07.19 「2-2-6-1」“Character”誤字修正
2017.11.13　ASCII Code 表 ‘－’02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表（１６進）

SPACE	０２０Ｈ	ａ	０６１Ｈ	タ	０Ｃ０Ｈ
		ｂ	０６２Ｈ	チ	０Ｃ１Ｈ
：	０３ＡＨ	ｃ	０６３Ｈ	ツ	０Ｃ２Ｈ
＜	０３ＣＨ	ｄ	０６４Ｈ	テ	０Ｃ３Ｈ
＞	０３ＥＨ	ｅ	０６５Ｈ	ト	０Ｃ４Ｈ
ー	０２ＤＨ	ｆ	０６６Ｈ		
．	０２ＥＨ	ｇ	０６７Ｈ	ナ	０Ｃ５Ｈ
／	０２ＦＨ	ｈ	０６８Ｈ	ニ	０Ｃ６Ｈ
		ｉ	０６９Ｈ	ヌ	０Ｃ７Ｈ
０	０３０Ｈ	ｊ	０６ＡＨ	ネ	０Ｃ８Ｈ
１	０３１Ｈ	ｋ	０６ＢＨ	ノ	０Ｃ９Ｈ
２	０３２Ｈ	ｌ	０６ＣＨ		
３	０３３Ｈ	ｍ	０６ＤＨ	ハ	０ＣＡＨ
４	０３４Ｈ	ｎ	０６ＥＨ	ヒ	０ＣＢＨ
５	０３５Ｈ	ｏ	０６ＦＨ	フ	０ＣＣＨ
６	０３６Ｈ	ｐ	０７０Ｈ	ヘ	０ＣＤＨ
７	０３７Ｈ	ｑ	０７１Ｈ	ホ	０ＣＥＨ
８	０３８Ｈ	ｒ	０７２Ｈ		
９	０３９Ｈ	ｓ	０７３Ｈ	マ	０ＣＦＨ
		ｔ	０７４Ｈ	ミ	０Ｄ０Ｈ
Ａ	０４１Ｈ	ｕ	０７５Ｈ	ム	０Ｄ１Ｈ
Ｂ	０４２Ｈ	ｖ	０７６Ｈ	メ	０Ｄ２Ｈ
Ｃ	０４３Ｈ	ｗ	０７７Ｈ	モ	０Ｄ３Ｈ
Ｄ	０４４Ｈ	ｘ	０７８Ｈ		
Ｅ	０４５Ｈ	ｙ	０７９Ｈ	ヤ	０Ｄ４Ｈ
Ｆ	０４６Ｈ	ｚ	０７ＡＨ	ィ	０Ａ８Ｈ
Ｇ	０４７Ｈ			ユ	０Ｄ５Ｈ
Ｈ	０４８Ｈ	ア	０Ｂ１Ｈ	ェ	０ＡＡＨ
Ｉ	０４９Ｈ	イ	０Ｂ２Ｈ	ヨ	０Ｄ６Ｈ
Ｊ	０４ＡＨ	ウ	０Ｂ３Ｈ		
Ｋ	０４ＢＨ	エ	０Ｂ４Ｈ	ラ	０Ｄ７Ｈ
Ｌ	０４ＣＨ	オ	０Ｂ５Ｈ	リ	０Ｄ８Ｈ
Ｍ	０４ＤＨ			ル	０Ｄ９Ｈ
Ｎ	０４ＥＨ	カ	０Ｂ６Ｈ	レ	０ＤＡＨ
Ｏ	０４ＦＨ	キ	０Ｂ７Ｈ	ロ	０ＤＢＨ
Ｐ	０５０Ｈ	ク	０Ｂ８Ｈ		
Ｑ	０５１Ｈ	ケ	０Ｂ９Ｈ	ワ	０ＤＣＨ
Ｒ	０５２Ｈ	コ	０ＢＡＨ	ン	０ＤＤＨ
Ｓ	０５３Ｈ			ッ	０ＡＦＨ
Ｔ	０５４Ｈ	サ	０ＢＢＨ	ャ	０ＡＣＨ
Ｕ	０５５Ｈ	シ	０ＢＣＨ	ュ	０ＡＤＨ
Ｖ	０５６Ｈ	ス	０ＢＤＨ	ョ	０ＡＥＨ
Ｗ	０５７Ｈ	セ	０ＢＥＨ	ァ	０Ａ７Ｈ
Ｘ	０５８Ｈ	ソ	０ＢＦＨ	ォ	０ＡＢＨ
Ｙ	０５９Ｈ			゛	０ＤＥＨ
Ｚ	０５ＡＨ			゜	０ＤＦＨ